3 電話

電話のかけかた

本機では、3つの方法で音声電話をかけられます。

- 電話番号を入力する
- 通話履歴から選択する
- 電話帳から選択する

音声電話をかけるときは、電波状態や電池残量など通話が可能なことを画面で確認してください。

電話番号を入力して電話をかける

1 待受画面で市外局番から電話番号を入力

- 同一市内でも必ず市外局番から入力してください。

2 電話番号を確認 → ／ ◉（発信）

電話がかかります。

- 相手の声の大きさを調節するには：
- 呼び出し中に発信を終了するには：（キャンセル）

3 通話が終了 →

「通話終了」と通話時間が約2秒間表示されます。その後、待受画面が表示されます。



■電話番号の入力を間違えたとき

で消したい数字の後ろにカーソルを移動して CLEAR/BACK を押します。次に正しい数字を入力します。CLEAR/BACK を長押しすると、カーソルより左にある数字がすべて消えます。

発信者番号通知を使う

お客様の電話番号を相手に通知したり、通知しないようにしたりできます。

●発信者番号通知サービスで設定する（P.3-14）

●発信ごとに通知／非通知を設定する

通知：186＋電話番号 → ／ ◉（発信）

非通知：184＋電話番号 → ／ ◉（発信）

こんなこともできます！

- 入力した電話番号を電話帳に登録する（P.2-11）
- 通話履歴から電話をかける（P.3-3）
- 電話帳から電話をかける（P.2-12）
- 通話中に利用できる機能（P.3-8）

通話履歴から選択して電話をかける（リダイヤル）

1 待受画面で [発信キー]

通話履歴の「全て」タブが表示されます。（P.3-9）

2 [方向キー] で相手の電話番号または名前を選択

・電話帳に名前と電話番号が登録されている場合は、名前が表示されます。

3 [発信キー]

電話がかかります。

・相手の声の大きさを調節するには：[方向キー]

4 通話が終了 → [終話キー]

「通話終了」と通話時間が約2秒間表示されます。

電話番号を確認してから発信する

通話履歴で名前を選択したとき、電話番号を確認してから発信できます。

1 名前を選択 → ◉（表示）→ ◉（発信）

ダイヤルキーに登録して電話をかける（スピードダイヤル）

よく使う電話番号をダイヤルキーに登録できます。

スピードダイヤルに登録する

電話帳に登録されている電話番号を最大9件まで登録できます。

1 待受画面で ◎ を長押し

スピードダイヤル画面が表示されます。

2 番号を選択

電話帳が表示されます。

・「<データなし>」の先頭に表示されている番号を選択します。

・先頭の番号はダイヤルキーの番号に対応しています。

3 電話帳から登録する電話番号または名前を選択 → ◉（OK）

4 電話番号を確認 → ◉（OK）

選択した番号に名前が表示されます。

スピードダイヤルで電話をかける

1 待受画面で [1] 〜 [9] を長押し

番号に対応した電話番号に電話がかかります。

スピードダイヤルの登録を解除する

1 待受画面で ◎ を長押し

スピードダイヤル画面が表示されます。

2 [方向キー] で番号を選択 → [メールキー]（メニュー）→「削除」→「はい」

・ダイヤルキーで番号を選択しないでください。発信します。

国際電話をかける

日本国内から海外に音声電話をかけられます。

1 **＊ を2回（+）＋国番号＋電話番号 → 発信キー ／ ◉（発信）**

・国際電話の料金など詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご案内しています。

・国際コード設定を行わず、着信履歴から相手先に折り返し発信した場合、自動的に国際コードが付加されますので、ご注意ください。

国際コードを確認する

1 **待受画面で ◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「国際コード設定」**

国際コードを変更する

1 **待受画面で ◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「国際コード設定」**

2 **CLEAR/BACK で番号を削除し、新しいコードを設定 → ◉（保存）**

電話の受けかた

電話がかかってくると着信音が鳴ります。



相手が電話番号を通知してきたときは、画面に電話番号または電話帳に登録されている名前が表示されます。

・非通知の場合は「非通知番号」と表示されます。

1 **発信キー ／ ◉（応答）→ 相手と話す**

・相手の声の大きさを調節するには：◎

・通話中にできる機能を利用するには：（P.3-8）

2 **通話が終了 → 終話キー**

「通話終了」と通話時間が約2秒間表示されます。

着信時に利用できる機能

着信中に以下の機能が利用できます。

着信音を消す※	◎、CLEAR/BACK、0 〜 9、＊、#
着信を保留する	✉（メニュー）→「保留」
簡易留守録で応答する	✉（メニュー）→「簡易留守録」
着信を拒否する	▦（拒否）

※エニーキーアンサー（P.11-2）がOnのときは、電話を受けます。

・着信音を消す設定は、通話が終了すると解除されます。

着信を保留にする

着信した電話を通話状態にしたうえで保留にできます。

1 **[メールキー]（メニュー）→「保留」**

相手には保留音が流れます。
- 保留中の電話に出るには：[メールキー]（メニュー）→「保留解除」

伝言メッセージを録音する（簡易留守録）

相手の伝言メッセージを録音できます。1件につき60秒まで、最大20件まで保存できます。

1 **[メールキー]（メニュー）→「簡易留守録」**

相手に応答メッセージが流れます。その後、録音状態になります。
- 応答メッセージの途中で通話が終了したときは、通話履歴の「不在着信」に履歴が残ります。
- 録音状態のときに通話が終了したときは、通話履歴の「留守録」に履歴が残ります。

- 自動的に簡易留守録になるように設定できます。（P.3-5）
- 録音件数がいっぱいの場合は、古いメッセージから削除されます。

簡易留守録を再生する

1 画面に「×件　簡易留守録」が表示されているとき

「×件　簡易留守録」を選択 → ◉（表示）

画面に「×件　簡易留守録」が表示されていないとき

待受画面で [CLEAR/BACK]

通話履歴の「留守録」が表示されます。

2 **再生したい電話番号または名前を選択 → ◉（表示）**

履歴詳細が表示されます。

3 **[メールキー]（再生）**

簡易留守録をあらかじめ設定する

着信があると、設定した時間で自動的に応答メッセージが流れ、伝言メッセージを録音できます。
- 電源が切れているとき、機内モード設定中や電波が届かない状態のときは、簡易留守録を使用できません。

■簡易留守録を設定／解除する

1 **[CLEAR/BACK] を長押し**
- 解除するには：もう一度 [CLEAR/BACK] を長押し
- 簡易留守録が録音されると、画面に簡易留守録の件数が表示されます。
- 簡易留守録を表示するには：待受画面で [CLEAR/BACK] → ◉（表示）

■応答メッセージが流れるまでの時間を変更する

お買い上げ時は、18秒に設定されています。
応答メッセージが流れるまでの時間を1～30秒の間で設定できます。

1 **待受画面で ◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「応答時間」**

2 **時間を設定 → ◉（OK）**

着信を拒否する

着信を拒否できます。拒否した着信は、不在着信として通話履歴に記録されます。

1 [ソフトキー]（拒否）

着信が拒否され通話が終了します。
「不在着信」と件数が画面に表示されます。
- 不在着信の内容を確認するには：◉（表示）

あらかじめ指定した電話番号や電話帳に登録されていない相手などからの着信を拒否できます。

本機では、以下の電話番号に対して着信を制限できます。
- 指定した電話番号
- 通知不可の電話番号（P.3-8）
- 公衆電話（P.3-8）
- 非通知設定の電話番号（P.3-8）
- 電話帳に未登録の電話番号（P.3-8）

また、指定した電話番号からのみ着信するように設定できます。（P.3-7）

電話番号を指定して着信を拒否する

着信を制限したい電話番号を拒否番号リストに登録する操作を説明します。
拒否番号リストには、50件まで電話番号を登録できます。

拒否番号リストを作成する

2つの方法で拒否番号リストに電話番号を登録できます。
- メニューから拒否番号リストを選択して電話番号を入力する
- 通話履歴から選択する

■メニューから拒否番号リストを選択して電話番号を入力する

1 **待受画面で ◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「発着信規制」**

発着信規制メニューが表示されます。

2 **「着信拒否番号」→「指定番号」→「拒否番号リスト」**

3 **◎ で「未登録」を選択 → ◉（編集）**
- 任意の場所を選択できます。

4 **電話番号を入力 → ◉（保存）**

「設定しました」のメッセージが表示されます。その後、拒否番号リストが表示されます。
- 複数の電話番号を指定するときは、3と4を繰り返します。

■通話履歴から選択する

1 待受画面で ／ ◎ ／ CLEAR/BACK

：「全て」タブが表示されます。
◎：「着信履歴」タブが表示されます。
◎：「発信履歴」タブが表示されます。
CLEAR/BACK：「留守録」タブが表示されます。
- 「不在着信」タブを表示するには、いずれかのタブを表示してから ◎ でタブを移動します。

2 ◎ で電話番号または名前を選択

- タブを移動するには：◎
- 名前の電話番号を確認するには：◉（表示）
- 名前の電話番号を確認した後は、CLEAR/BACK で戻ります。

3 （メニュー）→「着信拒否番号に追加」

拒否番号リストの「未登録」の場所に上から順に電話番号が追加されます。

拒否番号リストから電話番号を削除する

1 待受画面で ◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「発着信規制」

2 「着信拒否番号」→「指定番号」→「拒否番号リスト」

3 ◎ で削除する番号を選択 → （メニュー）→「クリア」

電話番号が削除され「未登録」になります。

拒否番号リストによる着信拒否を有効／無効にする

拒否番号リストによる着信を拒否する／しないを設定します。

1 待受画面で ◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「発着信規制」

2 「着信拒否番号」→「指定番号」→「設定」

3 「拒否する」／「拒否しない」

指定した電話番号からの着信のみ許可する

全着信規制（P.3-13）と拒否番号リストによる着信拒否の設定を組み合わせます。

- 全着信規制を設定するには、ご契約時の暗証番号が必要です。

1 待受画面で ◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「発着信規制」

発着信規制メニューが表示されます。

2 「全着信規制」→「有効化」

3 ご契約時の暗証番号を入力 → ◉（OK）

4 拒否番号リストを作成

- 「拒否番号リストを作成する」（P.3-6）

5 待受画面で ◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「発着信規制」

6 「着信拒否番号」→「指定番号」

指定番号メニューが表示されます。

7 「設定」→「拒否しない」

着信を拒否する

通知不可電話からの着信、公衆電話、非通知での着信、電話帳に未登録の電話番号からの着信を拒否できます。
・指定した電話番号からの着信を拒否する（P.3-6）

共通操作　待受画面で◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「発着信規制」→「着信拒否番号」

通知不可電話からの着信、公衆電話、非通知での着信を拒否する

1 「通知不可番号」／「公衆電話」／「非通知番号」

2 「拒否する」

電話帳に未登録の電話番号からの着信を拒否する

1 「未登録番号」

2 「拒否する」

通話中の操作

通話中に ◎ やソフトキーを押すと、次の操作ができます。

受話音量を調節する	📖◎ ・10段階で調節できます。通話音量を下げ続けると相手の声が聞こえなくなります。 ・変更した通話音量は、通話終了後や電源を切っても保持されます。
通話を終了する	📖✉（メニュー）→「通話を終了」
通話を録音する	📖✉（メニュー）→「録音」 ・録音した通話は、待受画面で ◉（メニュー）→「データフォルダ」→「オーディオ」→「通話録音フォルダ」から再生できます。
DTMFを切り替える	📖✉（メニュー）→「DTMF Off／DTMF On」 ・DTMFをOnに設定すると、ダイヤルキーを押したときにトーン信号が発信されます。
メール画面を開く	📖✉（メニュー）→「S!メール」
番号を入力する	📖✉（メニュー）→「番号を入力」 ・番号を入力して、電話帳に登録したり、メールの宛先にしたりできます。
電話帳画面を開く	📖✉（メニュー）→「電話帳」 ・発信はできません。
ハンズフリーで通話する	📖◉（ハンズフリー） ・スピーカーから相手の声が聞こえるようになります。 ・録音中は、✉（メニュー）→「ハンズフリー」から操作できます。
通話をミュートにする	📖▦（ミュート） ・こちらの声が相手に聞こえなくなります。

発着信、不在着信、簡易留守録の履歴を確認できます。また、履歴から発信したり電話帳に登録したりできます。
通話履歴は、「全て」「不在着信」「着信履歴」「発信履歴」および「留守録」の5つのタブで表示されます。

履歴を表示する

1 **通話履歴の場合**

待受画面で

発信履歴の場合

待受画面で ◎

着信履歴の場合

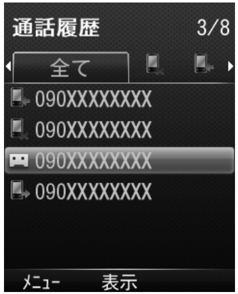
待受画面で ◎

簡易留守録の場合

待受画面で CLEAR/BACK

履歴一覧が表示されます。

- 履歴の種類は、◎ で切り替えられます。



- 新しい履歴から順に一覧表示されます。電話帳に登録されているときは、相手の名前が表示されます。
- 同じ電話番号は1つの履歴にまとめられます。複数の履歴があるときは、電話番号や名前の後ろに履歴数が表示されます。
- 最大件数を超えたときは、古い履歴から削除されます。
- 履歴は、待受画面で ◉（メニュー）→「電話機能」→「通話履歴」でも表示できます。

■アイコンが示す状況

発信	不在着信
着信	簡易留守録

履歴の詳細を確認する

1 履歴一覧を表示する

2 電話番号または名前を選択 → ◉（表示）

電話番号、名前、通話回数、各通話の通話時刻（年月日と時刻）が表示されます。



- 電話帳に名前が登録されていない場合は、名前は空欄になります。
- 発信および着信履歴では、各通話の通話時刻に加えて通話時間が表示されます。

3
電話

履歴表示中に利用できる機能

各種履歴を表示中に [メールキー]（メニュー）を押すと、次の操作ができます。

発信	電話番号に発信します。
電話帳に登録	電話帳に登録します。 📖「新規登録」→ 必要な情報を入力 → [メールキー]（保存） 📖「追加登録」→ 必要な情報を入力 → [メールキー]（保存）
メール送信	メールを作成します。 📖「SMS」→ 必要な情報を入力 → [メールキー]（送信） 📖「S!メール」→ 必要な情報を入力 → [メールキー]（送信）
着信拒否番号に追加	拒否番号リストに電話番号を追加します。
削除	履歴を削除します。 📖「1件削除」→「はい」 📖「複数選択削除」→ 削除したい履歴にチェック → [メールキー]（完了）→「はい」
通話時間	通話時間を確認します。（P.3-10）
データフロー情報	送信／受信のデータ容量を確認します。 また、送信／受信のデータ容量を削除します。 ・[キー]（削除）→「はい」

通話時間の確認

直前（前回）の通話時間や累積の通話時間を確認できます。

・表示される時間は目安です。
・着信中や呼び出し中の時間は通話時間に含まれません。保留中は通話時間に含まれます。

1 **待受画面で ◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「通話時間」**

通話時間画面に以下の時間が表示されます。
・最終通話時間
・発信時間
・着信時間
・全通話時間

2 **◉（OK）**

通話時間画面が閉じて、通話設定メニューが表示されます。

オーナー情報の確認と登録

自分の電話番号を確認できます。また、メールアドレス、住所などの情報をオーナー情報として登録できます。

オーナー情報を確認する

1 待受画面で ◉（メニュー）→ [0]

オーナー情報画面が表示されます。

・お買い上げ時は、電話番号のみ登録されています。

オーナー情報を登録する

必要に応じて、名前やメールアドレスなどの情報を登録できます。

1 待受画面で ◉（メニュー）→ [0]

オーナー情報画面が表示されます。

2 項目を選択 → ◉（編集）→ ◉（編集）

・◎ でタブを移動します。
・◎ でタブに表示された項目を移動します。
・以下の情報を登録できます。

タブ	登録項目
電話・メール	姓、名、追加する電話番号、メインのメールアドレス、追加するメールアドレス
詳細	住所、勤務先、ホームページ、メモ、誕生日
設定	画像

3 編集する → ◉（確定）→ [✉]（保存）

・自局番号は編集／削除できません。

オーナー情報で利用できる機能

オーナー情報を表示中に [✉]（メニュー）を押すと、次の操作ができます。

項目	操作・補足
連絡先を送信	SMSやS!メールでオーナー情報を送信します。 📖「SMSで送信」→ 項目にチェック → [✉]（完了）→ 以降はSMSの作成手順（P.4-9） 📖「S!メールで送信」→ 項目にチェック → [✉]（完了）→ 以降はS!メールの作成手順（P.4-6）
アカウントの詳細をリセット	自局番号以外のすべてのオーナー情報を初期化します。

緊急通報

発信を制限する機能を使用している場合でも、110番（警察）、119番（消防・救急）、および118番（海上保安庁）に発信できます。

■緊急通報できる場合、できない場合

発信できる	・キーロック設定中 ・全発信規制設定中
発信できない	・ソフトバンクのUSIMカードを取り付けていない場合 ・パスワードでのキーロック ・ご契約時の暗証番号（PINコード）の入力画面 ・PUK入力画面

■緊急通報位置通知について

ソフトバンク携帯端末（3G）から110番、119番、118番に緊急通報を行うと、発信した場所の位置情報が警察などの緊急情報受理機関に自動的に通知されます。このシステムを「緊急情報位置通知」といいます。通知される位置情報は、本機が受信している基地局測位情報をもとに算出されます。

・お申し込み料金、通信料は一切かかりません。
・発信した場所や電波の受信状況によっては、正確な位置が通知されない場合があります。緊急情報受理機関に対して、必ず口頭で発信場所、目標物、目的をお伝えください。
・緊急通報位置通知は、接続先となる緊急情報受理機関が位置情報を受信できるシステムを導入したあとにご利用いただけるようになります。
・「184」（発信者番号非通知）をつけて緊急通報を行うと、緊急情報受理機関には位置情報は通知されません。ただし、人命などに差し迫った危険があると緊急情報受理機関が判断したときは、同機関がお客さまの位置情報を取得することがあります。

オプションサービスの利用

オプションサービスの概要

本機では、次のオプションサービスが利用できます。

・お申し込み、一般電話からの操作、サービスの詳細についてはソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）でご案内しています。

発着信規制サービス（P.3-13）	電話の発着信やSMSの送受信を規制します。
発信者番号通知サービス（P.3-14）	お客様の電話番号を相手に通知したり、通知しないようにしたりします。

発着信規制サービス

サービスをご利用になるためには、ご契約時の暗証番号が必要です。(P.1-13)
以下の項目を設定できます。

項目	説明
全発信規制	すべての電話がかけられません。
発信規制（国際電話）	国際電話がかけられません。
全着信規制	すべての電話が受けられません。
全ての発着信規制解除	すべての発信規制と着信規制を解除します。 📖ご契約時の暗証番号を入力
着信拒否番号	指定番号（拒否番号リストに登録した電話番号）や通知不可番号、公衆電話、非通知番号、未登録番号（電話帳に登録されていない電話番号）からの着信を拒否するかどうかを設定することによって、着信を規制します。 📖設定するには：(P.3-6、P.3-8)

共通操作　待受画面で◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「発着信規制」

発着信規制サービスを開始／停止する

1 「全発信規制」／「発信規制（国際電話）」／「全着信規制」→「有効化」／「停止」

2 ご契約時の暗証番号を入力 → ◉（OK）

- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されますが、お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

発着信規制サービスの設定状況を確認する

1 「全発信規制」／「発信規制（国際電話）」／「全着信規制」→「設定確認」

設定状況が表示されます。
- ◉（OK）を押すと、発着信規制画面が表示されます。

すべての発着信規制を解除する

1 「全ての発着信規制解除」

2 ご契約時の暗証番号を入力 → ◉（OK）

発信者番号通知サービス

お買い上げ時は、お申し込みいただいた設定（ネットワーク依存）です。

1 待受画面で◉（メニュー）→「設定」→「通話設定」→「発信者番号通知」

2 「ネットワーク依存」／「On」／「Off」